

| 様式 2 | | 令和 3 年度 宇陀市立大宇陀中学校 | | | 自己評価書 (学校経営) | | |
|--|---------------|-------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|--|---|---|
| 大項目 | 中項目 | 小項目 | 評価指標 | 評価 | 成果と課題 | 課題の改善方策等 | |
| II 学 校 経 営 に 関 する も の | (1)組織運営 | ①学校経営目標・方針 | ・学校経営目標の明確化 | ・明確な学校目標や経営方針を示したか。 | A | ○折に触れ示した。 ○本年度の重点課題について、繰り返し周知した。 ○働き方改革を含め業務が決まった者に偏らぬような工夫が必要。ノー残業デーや部活動休養日の徹底については、ある程度浸透しつつある。 ○できうる限りの考慮をした。 ○不定期開催となった。 ○生徒指導部会及び人権教育部会を毎週行い、情報交換し共通理解した。 | ○さらなる工夫が必要である。 ○定期的な開催を目指す。 ○継続して実施する。 |
| | | | ・学校経営の方針を教職員に周知したか。 | A | | | |
| | | ②校務分掌等の連携 | ・校務分掌の適正化 | ・仕事量や業務の関連を考慮した校務分掌とすることができたか。 | B | | |
| | | | ・教職員の適正配置と運営への参加意識 | ・教職員の経験や能力、特性を考慮した分掌配置となっていたか | A | | |
| | ③会議の運営 | ・2部会の活性化 | ・2部会を学期に1回行うことができたか。 | B | | | |
| | | | ・各種会議の設定と定例化 | ・各委員会を定期的に開催できたか。 | A | | |
| | (2)危機管理 | ①危機管理体制の整備 | ・危機管理マニュアルの徹底 | ・研修を持ち、危機管理マニュアルの共通理解ができたか。 | B | ○研修をもてなかつた。 ○携帯電話の持ち込み規定の見直し、頭髪規定の見直し等を行った。 ○緊急警報装置を活用した訓練を実施したが、複数回の実施はできなかった。 ○新型コロナウイルスへの対応や、熱中症等の対策や不審者対応、休日前や連休前等常に安全に心がけるよう啓発した。 ○メール配信を、適宜活用すると共に、定期的に育友会本部役員会を開催し意見交流を行った。 ○関係委機関の協力や連携を重視して取り組んだ。 | ○研修の実施を目指す。 ○複数回の実施を目指す。 ○より関係を深める。 |
| | | | ・生徒指導体制の構築 | ・生徒指導マニュアルの見直しを行い、改善できたか。 | A | | |
| | | ②安全指導の徹底 | ・全校体制での取組の実施 | ・避難訓練を複数回行えたか。 | B | | |
| | | | ・日常的な取組の実施 | ・日常的に安全意識を高めるよう取り組んだか。 | A | | |
| | | ③家庭や関係機関との連携 | ・家庭との連携 | ・メール配信を活用すると共に、育友会と連携し、意見を取組に繋ぎあわせたか。 | A | | |
| | | | ・関係機関との連携 | ・関係機関との連携を強化することができたか。 | A | | |
| | (3)保健管理 | ①保健指導 | ・学校保健安全計画の立案 | ・学校保健安全計画は適切に作成されているか | A | ○新型コロナウイルス感染予防対策や、熱中症対応など、初期対応を重視し、家庭と連携しながら対応した。 ○カウンセラー担当を中心にSCやSSWとの連携を密に行い、保護者対応も含めてきめ細かく指導に当たった。 ○関係機関との調整ができず開催できなかった。 | ○実施において、より多くの方に参加して頂けるような工夫が必要。 ○継続して取り組む。 ○さらに、関係機関の協力を求め、より充実した中身を追求する。 |
| | | | ・保健指導の充実 | ・生徒の健康状態や心身の課題に応じた指導ができたか。 | A | | |
| | | ②心のケアや健康相談体制の整備 | ・学校カウンセラーの活用 | ・カウンセラーと連携して生徒の指導にあたったか。 | A | | |
| | | | ・健康相談活動の充実 | ・養護教諭を中心とした健康相談活動を進めたか | A | | |
| | ③関係機関との連携 | ・学校保健委員会の開催 | ・関係機関と連携し、学校保健委員会を開催出来たか。 | B | | | |
| | (4)保護者・地域との連携 | ①学校情報の発信 | ・Webページの活用 | ・学校行事や学校からの情報をwebページを通じて、積極的に発信できたか。 | A | ○学校便りや学年通信、保護者案内等を学校HPに掲載した。 ○積極的に活用した。 ○新型コロナウイルス感染予防に留意しながら、本年度のオープンスクールを実施した。 ○新型コロナウイルス感染予防に留意しながら実施した。 ○街並み観光ボランティア活動、花いっぱい運動などを実施した。 ○教育活動において地域の方の協力を頂いている。 ○小学校とはある程度連携はできたが、幼稚園(こども園)との連携が少なかった。 ○例年「花いっぱい運動」などで連携して取り組むが、特色選抜入試と重なり、高等学校との連携ができなかった。 ○委員に協力頂き定期的に開催できた。 | ○実施において、より多くの方に参加して頂けるような工夫が必要。 ○継続して取り組む。 ○さらに、関係機関の協力を求め、より充実した中身を追求する。 |
| | | | ・情報発信システムの活用 | ・メール発信システムを活用して、保護者への情報提供を効果的に行ったか。 | A | | |
| | | ②学校(授業)公開 | ・オープンスクールの活性化 | ・オープンスクールの実施方法を工夫することができたか。 | A | | |
| ・授業参観の実施 | | | ・授業参観を毎学期実施できたか。 | A | | | |
| ③家庭・地域との連携 | | ・保護者・地域住民の学校教育への参加 | ・保護者や地域の力を学校教育に生かす機会がとれたか。 | A | | | |
| | | | ・校務分掌に地域コミュニティの組織を設け、計画的な取組ができたか。 | A | | | |
| | | ・生徒の地域活動への参加 | ・生徒が主体的に取り組む地域貢献活動ができたか。 | A | | | |
| ④校種間連携 | | ・異年齢間の交流 | ・保・幼・小と連携した取組ができたか。 | B | | | |
| | ・高等学校との連携 | ・高等学校と連携した取組が継続・発展できたか。 | B | | | | |
| ⑤学校評議員の活用 | ・学校評議員委員会の開催 | ・学校評議員委員会を定期的に開催できたか。 | A | | | | |
| (5)教育環境整備 | ①施設設備の有効活用 | ・特別教室の有効活用 | ・特別教室を授業以外でも活用することができたか。 | A | ○合同授業や学年行事等で積極的に活用できた。 ○体育館の開放を積極的に行った。 ○ギガスクール構想での、生徒一人に1台のタブレットが貸与され活用した。 ○図書室の活用が例年に比べ少なかった。 | ○計画的な活用に努める。 ○教育機器の効果的利用のための研修の実施。 | |
| | | ・学校施設の有効活用 | ・地域への施設開放を積極的に行ったか。 | A | | | |
| | ②教材・教具の整備 | ・教材・教具の整備・活用状況 | ・必要な教材・教具を計画的に整備できたか。 | A | | | |
| | | ・図書・副読本等の整備・活用状況 | ・図書室の本や副読本(なかま、なかまとともに)を活用したか。 | B | | | |